

令和5年5月30日

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和4年度（第15期）決算について（お知らせ）

標記の件について、下記のとおり決算が確定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 決算概要

- 輸送人員…111万6,350人（令和3年4月に開校した美乃浜学園の児童生徒の輸送（約27万人）が含まれるが、それを除くと過去最多となった令和元年度の79.8%）
- 旅客運輸収入…1億7,234万円（前年度比8.6%の増、令和元年度の88.7%）
- 単年度収支…1,399万円の赤字で、赤字は3年連続

令和4年度については、輸送人員、営業収入とも回復基調で推移したものの、コロナ禍前の水準には至らず、引き続き厳しい経営状況となりました。

輸送人員については、通勤定期は、前年度に比べ6.3%減の17万1,674人、通学定期は、前年度に比べ2.4%減の60万780人となり、定期旅客全体では、前年度に比べ3.3%減の77万2,454人となりました。

定期外旅客については、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されたこと等により、国営ひたち海浜公園やおさかな市場等への観光需要に回復が見られ、前年度に比べ19.6%増の34万3,896人となりました。

この結果、定期、定期外を合わせた年間輸送人員は、前年度に比べ2.8%増の111万6,350人となり、開業以来過去最多となりましたが、美乃浜学園の通学輸送（年間約27万人）を除くと、コロナ前で過去最多であった令和元年度の輸送人員の79.8%となりました。

旅客運輸収入については、定期外利用客の回復傾向により、前年度に比べ8.6%増の1億7,234万1,795円となりましたが、開業以来過去最高を記録した令和元年度と比較すると、その85%強に留まり、運輸雑収を含む営業収益全体では、前年度に比べ約2,724万円増の2億4,185万8,391円（令和元年度比3,071万円減、88.7%）となりました。

営業費については、法令で義務付けられる車両検査に係る修繕費の増加や、内燃動力費及び水道光熱費の増、ネモフィラシャトルバス運行費用の増、周年祭イベントや「ほしいもツーリズム」実証事業による広告宣伝費の増などがありました。営業費全体では、前年度に比べ約540万円減の3億1,683万693円となりました。

この結果、営業損益は、△7,497万2,302円、営業外損益を含む経常損益は、△7,285万531円となり、国、県、市からの補助金収入を差し引いた税引き後の当期純損益は、

△1,399万円499円となり、昨年に引き続き3年連続で赤字を計上しました。

なお、取締役3名の役員は、重任することが承認されました。

2. 輸送人員

(単位：人)

	定期旅客			定期外旅客	合 計
	通勤定期	通学定期	定期計		
令和3年度	183,158	615,350	798,508	287,444	1,085,952
令和4年度	171,674	600,780	772,454	343,896	1,116,350
対前年度比	93.7%	97.6%	96.7%	119.6%	102.8%

3. 営業収益

(単位：千円)

	定期旅客			定期外 旅客	旅客運輸 収入合計	運輸雑収	営業収益 合 計
	通勤定期	通学定期	定期計				
令和3年度	30,155	49,619	79,774	78,916	158,690	55,930	214,620
令和4年度	28,715	47,394	76,109	96,232	172,342	66,517	241,858
対前年度比	95.2%	95.5%	95.4%	121.9%	108.6%	118.9%	112.7%

4. 収 支

(単位：千円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増減
営業収益	241,858	214,620	27,238
営業費	316,831	322,137	△5,306
営業損益	△74,972	△107,517	32,544
営業外収益	2,605	850	1,755
営業外費用	484	0	484
経常損益	△72,850	△106,666	33,516
特別利益	188,384	125,572	65,812
特別損失	129,189	36,883	92,306
税引前当期純損益	△13,655	△17,977	4,322
法人税、住民税及び事業税	335	335	0
当期純損益	△13,990	△18,312	4,322

お問い合わせ先 … **ひたちなか海浜鉄道 吉田、坂本、大重**
☎029-262-2361